

きゅうがめら! TOKKO PRIDE! TOKKO BRAND!

徳之島高校通信

令和5年度
12月号
205号

～徳之島高校から「きゅうがめら! (こんにちは)」～

青い海・緑豊かな大地・赤く輝く太陽の下、イキイキと輝く徳高生の姿をPICKUPしました。

1 学年減災教育

12月5日(火)6限目に1学年全体で減災教育を行いました。

生徒たちは、地震と津波が発生し徳之島高校が避難場所となった想定のもと、武道館に避難しました。当日の減災教育では、災害を「自分の問題」として捉えるという目的のもと、避難所の設営を行いました。教頭の指示や説明を受け、配慮の必要な避難者を想定しながらテントの配置を考え、簡易ベッドの組み立てや毛布を用いた簡易担架による搬送を体験しました。避難所を設営するうえで考慮すべきことを学びながら、互いを尊重しあい話し合うこと

の重要性も学べたと思います。実際の保存食も配られ、災害直後の実態を少しでもリアルに感じられたことでしょう。



新聞にも
取り上げられ
ました



南海日日新聞



奄美新聞

第2回避難訓練

12月12日(火)3限目に「予告なし避難訓練」が実施されました。生徒だけでなく、職員にも予告なしの訓練でした。

火災の想定のもと火災報知器の警報が鳴り、生徒は驚きながらも窓を閉め、事態の把握に努めていました。放送によりグラウンドに逃げるよう指示があり、各教室から避難を行いました。

避難完了後は人員確認、消火訓練を行いました。消火訓練は各学年の代表者が行い、もしものための大事な経験になりました。



【消防署の方から】

- ・ 火災により避難をするときは、マスクやタオルを口に当て、低い姿勢で逃げるようにする。
- ・ 外出先でも災害に備えて非常口や消火設備等の場所の把握をする(消火器具の使い方も調べ、もしものときに備える)。

【校長から】

- ・ 火災ではなく地震の場合にはどうするか。
- ・ 命を守るということを最優先に行動する。
- ・ 普段から各教室、どこからでも逃げられるよう避難ルートを2パターン考えておく(危険が予測される場所は避ける)。

今回の「予告なし避難訓練」は危機感のある訓練になりましたが、命を守るためにはまだまだやれることがあります。今後も、もしものに備えた知識を身につけていきましょう。

1 学年ホエールタイム 「知徳フィールドワーク」

12月8日(金)に、1学年の総合的な探究の時間(ホエールタイム)学習活動の一環として、「知徳フィールドワーク」を実施しました。



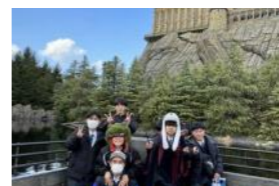
これは地域活性化の在り方についてフィールドワークを通して理解を深め、今後の探究学習へ活かすことを目的として計画され、地域の方々や、関係者から講和等をいただきながら、伊仙町東公民館、三京林道、山集落、合同会社あまみ徳之島絆ファーム、平土野商店街を訪問しました。



徳之島の未来のために取り組んでいる大人の方々の姿を見て、自分たちに何ができるか、何を心掛けていくべきか、考えることができました。今回のフィールドワークの学びを受けて、今後の探究活動がより一層充実しそうです。

修学旅行

12月5日(月)～8日(金)に、2学年が関西方面での修学旅行が行われました。神社できれいな紅葉を見たり、USJでおもいきり楽しんだり、楽しい思い出ができたようです。



校長雑談 ～徳高プライド～ Vol.5 「ハンパない」のは、何が「ハンパない」のか?

今回はサッカー

何号か飛びましたが、前回は大谷翔平の話をしました。その後も、MLBでのホームラン王・MVP・ドジャースへの移籍…次から次へと驚かせ続けてくれています。来年も本当に楽しみです。

でも、毎回毎回野球の話もいかなものかと思しますので、今回はサッカーの話にします。

以前勤務していた学校で、サッカー部の顧問をしていたことがあります。その学校に転動すると、やったこともない(ほとんど観たことすらない)サッカー部の副顧問になっていました。

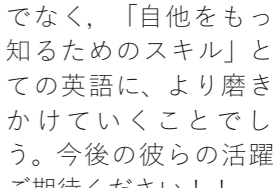
城西高校サッカー部と言えば・・・裏面へ続きます→

グローバルクラスルーム最終回

12月13日(水)7限目、ベトナムの高校と続けていたオンライン交流授業の最終日でした。10月に交流が始まり、今回で4回目の交流。

最初の頃は、何を話せばよいかわからなかったりして、思うように自分の思いを伝えることができず悔しい思いをしていました。しかし本事業により、生徒の英語を運用してコミュニケーションをとる力や姿勢が高まっただけでなく、自分の英語が伝わるのだという自信がついた生徒も多かったようです。

貴重な経験をした徳高生たちは、受験の英語だけでなく、「自他をもっと知るためのスキル」としての英語に、より磨きをかけていくことでしょう。今後の彼らの活躍にご期待ください!!



それまでサッカーには全く興味がなく、ルールもほとんど知りませんでしたので、「えっ!？」と思いましたが、仕方なく時々練習を観に行ったり、監督の先生に誘われて（駆り出されて？）休日に練習試合について行ったりしている間に、あつと言う間に5月中旬。県の高校総体がやってきました。元々割と強いサッカー部だったので快調に勝ち進み、あれよあれよと言う間にベスト4。準決勝の対戦相手は鹿児島城西高校でした。



時は2009年

時は2009年5月。鹿児島城西高校は、その数か月前に第87回全国高等学校サッカー選手権大会で全国準優勝していました。そう、あの「ハンプパない」時の鹿児島城西です。

その快挙から半年も経っていない時でしたので、周りがザワザワしていたのを覚えています。サッカーのことを何も知らない私にはその値打ちが分からず、平静そのもの。「まあまあ、みなさん落ち着いて…」という感じでした。

相手には全国準優勝した時のメンバーが何人かいて、のちにプロになった選手もいました。そんな相手に普通の公立高校が挑戦…そして結果は…「4対0」で鹿児島城西に勝ってしまい、決勝進出と九州大会への切符を勝ち取りました（私はベンチでポカリ飲んでワーワー言っただけですが…）。

今になってみれば、あの時の生徒たちは本当にスゴいと思います。サッカーの「4-0」は結構なワンサイドゲーム。生徒たちや保護者は大騒ぎでした（申し訳ないことに、その時の私にはあまり価値が分かっていませんでしたが…でも、あの時の70分間、芝生の上を躍動する生徒たちの輝きは、今も胸に目に焼き付いています）。

あとでいろんな人たちから、いろいろな話を聞きました。その中に（真偽は定かではありませんが）「城西の主力選手たちに故障者が続出していて、まともに試合ができる状態じゃなかった」と言っていた人がいました。本当の話かどうかは分かりませんが、もちろん、それでもあの時の生徒たちの快挙の価値が下がる訳ではありません。



ハンプパなさの根源

その話を聞いて私が考えたことが今回の本題です。

2009年・全国高校サッカー選手権での鹿児島城西の全国準優勝の立役者は、言うまでもなく大迫勇也です。今年もJリーグMVP・得点王に輝いた、その大迫勇也が高校日本を目指してやっていた、「ハンプパない」レベルの練習をずっと一緒にこなし、ともに全国準優勝に輝いた周りの高校生たち…もちろん、とてつもなく非凡なプレーヤーの集団だったはずですが、それでも、かなり

のオーバーワークになっていて、終わった途端、身体が次々に悲鳴をあげ、故障者が続出した…これが私の推測です。

対戦相手だった滝川第二高校のキャプテンいわく、「（普通できひん）後ろ向きのボールめっちゃトラップする」テクニックとスピードはもちろんハンプパないのですが、それを身につけ、大舞台で平然とやってのけるまで身体にしみこませるための厳しい練習の繰り返しと、そしてその厳しい練習を毎日毎日ずっと続けても壊れない強靱かつ柔軟な肉体。さらにそれを支えるストイックな精神。その高次元での融合が「ハンプパなさ」の根源。

努力の積み重ねの賜物

つまり、本当にハンプパないのは、きらびやかなテクニックではなく、それを手に入れるための激しい鍛錬と、それに耐え抜く（または、苦もなく

1月の行事予定表

1日(月)	元旦 学校閉庁日(～3日)
4日(火)	共通テスト直前バック(ラーンズ)(～5日)
9日(月)	始業式 頭髪・服装検査 課題実力考査(～10日)
12日(金)	お魚捌き方教室(生活科学系列2・3年)
13日(土)	大学入学共通テスト:1日目(於:大島高校) ベネッセ総合学力テスト(1・2年普通科)(～14日)
14日(日)	大学入学共通テスト:2日目(於:大島高校) 第3回英語検定1次

“サラッ”とやってのける)ことができる、強くて柔らかい「精神と肉体」ではないでしょうか。

「ハンプパない」テクニックを真似するためには、そのテクニックを身につけるための「ハンプパない」練習を真似しないといけないのかもしれない。

「天才」たちは、きっと「普通できひん」努力を積み重ねて「天才」になるんだと思います。

大迫勇也 プロフィール

1990年5月18日生まれ (33歳)

鹿児島県加世田市出身

鹿児島城西高校 卒業

【クラブ】

2009～ 鹿島アントラーズ

2014 TSV1860ミュンヘン(ドイツ)

2014～ 1.FCケルン(ドイツ)

2018～ ヴェルダー・ブレーメン(ドイツ)

2121～ ヴィッセル神戸

【代表歴】

日本代表 57試合出場 25得点

2023年 J1最優秀選手賞受賞

15日(月)	学年朝礼
18日(木)	総合的な探究の時間 校内発表会
19日(金)	1時間カット
21日(日)	第70回全商情報処理検定
22日(月)	卒業考査(～25日)
25日(木)	長距離走大会前健康診断
26日(金)	総合学科学習発表会
28日(日)	第97回全商簿記実務検定



鹿児島県立徳之島高等学校

〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津784番地 Tel 0997(82)1850 Fax 0997(82)1851

<http://www.edu.pref.kaagoshima.jp/sh/Tokunoshima/>

